

【分野：経済学史、スコットランド啓蒙思想、アメリカ思想史】

# 経済学史研究と日本

—田中敏弘（関西学院大学名誉教授）英文論文集—

JAPAN AND THE STUDY OF THE HISTORY OF ECONOMIC THOUGHT

Collected English Essays by Toshihiro Tanaka, Professor Emeritus, Kwansei Gakuin University

●編・解説● 井上琢智（関西学院大学元学長）

2020年3月刊行 A5判・上製（函入り）・280頁 本体価：13,800円（+税） ISBN: 978-4-86166-222-5

発行：Edition Synapse

田中敏弘（関西学院大学名誉教授）が国内外の学会誌等に英文で発表された論文・記事 27編の集成です。戦後若くして米国へ留学した著者は、コロンビア大学、シラキューズ大学で学び、修士号取得後帰国、その後関西学院大学で長く教鞭をとりました。その間、経済学部長、図書館長を歴任、同大学の経済学、経済学史教育、研究の発展に尽くすと同時に、経済学史関連の貴重文献、資料の収集にも精力的な活動をしました。学外でも経済学史学会やアメリカ経済学史研究会などの中心人物の一人として活躍、海外でもグラスゴウ大学やケンブリッジ大学での研究や吉林大学での教育、さらにオーストラリア経済学史学会設立の支援などにも尽力、経済学史研究の日本と海外の架け橋ともなりました。本英文論文集は、マンデヴィル、ヒューム研究から、著者が特に力をいれた J. B. クラークを中心としたアメリカ経済学史研究、そして日本における経済学史研究を海外に紹介した雑誌記事など幅広く網羅し、編者による注釈、書誌解説が加えられます。

“歴史的な制度や思想の転換・  
生成のプロセスを…あくまでも原史料・  
資料に内在し、外国の研究者との交流・研究成  
果の発信をつうじて解明し続けた田中先生の業績  
から我々が学ぶことは、実に大きなものがある。  
広く推薦する次第である。”

高 哲男（九州大学名誉教授）



David Hume



Bernard Mandeville



J. B. Clark

Edition Synapse

# 経済学史研究と日本

—田中敏弘（関西学院大学名誉教授）英文論文集—

## Japan and the Study of the History of Economic Thought

- Collected English Essays by Toshihiro Tanaka, Professor Emeritus, Kwansei Gakuin University

【編・解説】井上琢智（関西学院大学元学長）

2020年3月刊行 A5判・上製（函入り）・280頁 本体価格：13,800円（+税） ISBN: 978-4-86166-222-5

### CONTENTS:-

Introduction by Takutoshi Inoue

Part I: Bernard Mandeville

Mandeville and Smith — In Connection with Economic Theory / Mandeville and Keynes / Adam Smith's *Theory of Moral Sentiments* and Bernard Mandeville

Part II: David Hume

David Hume as an Economist/ Hume to Smith: An Unpublished Letter

Part III: J. B. Clark and American Economic Thought

The Economic Thought of J. B. Clark: An Interpretation of 'The Clark Problem' / J. B. Clark and Alfred Marshall: Some Unpublished Letters / Preface and Introductory essay to the Correspondence / In the Current of the Studies in the History of American Economic Thought / The Main Feature of *The Making of American Neoclassical Economics*

Part IV: The History of Economic Thoughts in Japan

The Society for the History of Economic Thought Japan (1981-1988) / Book Review: Recent Marshall Studies in Japan / Joseph Dorfman and the Studies in the History of American Economic Thought in Japan / Thorstein Veblen Studies in Japan: A bibliography / Preface of *Economic Thought and Modernization in Japan* / Australia and Japan and the Study of the History of Economic Thought / Professor Toshihiro Tanaka's words of remembrance for the late Professor Peter Groenewegen

Appendix. 1981 Inaugural Conference of the History of Economic Thought Society of Australia

Bibliographic Notes by Takutoshi Inoue

### 編者の言葉

井上琢智（関西学院大学元学長）

田中敏弘名誉教授は、研究対象であるマンデヴィル、ヒューム、J. B. クラークを中心としたアメリカ経済学史研究についての多くの論文、著書を日本語で公刊され、同時代の日本の経済思想史研究を牽引されてきました。それと並行し、そのエッセンスを英語で執筆し、所属する世界の経済学史思想史関連学会で報告をされ、'The Clark Problem' に代表される研究成果は世界の学界の注目を引き、論争さえ巻き起こしました。さらに自らの研究成果の公表だけでなく、日本におけるアメリカ経済思想史研究、ヴェブレン研究、マーシャル研究についての文献目録を作成し英語で公表、日本の経済思想史研究水準が欧米のそれに比べても高いことを海外に示すと同時に、J. B. Clark=F. H. Giddings 書簡に代表される草稿類の発掘・翻刻・公刊に努め、世界の学界に大きく貢献されました。また、日本経済思想史研究の成果を英文論集として公刊することを経済学史学会の事業と位置づけ、その出版事業は共編 *Economic Thought and Modernization in Japan* (1998) を第一集とし、現在第8集まで公刊されています。

このように田中敏弘名誉教授は、日本の経済思想史研究の国際発信・交流に先鞭をつけられましたが、今回刊行する本書は、その内容をすべて含む英文論集です。

## ●田中敏弘さんの国際的視野から学ぶこと●

高 哲男 (九州大学名誉教授)

本書は田中敏弘関西学院名誉教授が執筆されてきた英文論文の集成であるが、氏の研究分野と業績を貫いている大きな特徴は、独自の国際的な視野である。おそらくそれは、20世紀におけるアメリカ経済思想史研究をけん引したコロンビア大学のJ. ドーフマンの下で学び、練り上げてきた思想や方法、さらに、同窓の多くのアメリカ人研究者との交流の上に展開されたものである点で、実に貴重な類をみない仕事なのである。若いときにT. ヴェブレン研究に集中したドーフマン、壮年になってJ. B. クラーク研究に集中した田中という違いはある。だが、J. B. クラークは、現代アメリカ経済思想の形成・転換という奔流の中で苦闘しつづけた経済学者であった。しかもクラークには、ヒューム・スミスに始まる伝統的な自由競争重視の思想に対するアメリカ経済思想の運命的苦悩が貫いている。この点も含め、歴史的な制度や思想の転換・生成のプロセスを、マンデヴィル、ヒューム研究にも共通する、あくまでも原史料・資料に内在し、外国の研究者との交流・研究成果の発信をつうじて解明し続けた田中先生の業績から我々が学ぶことは、実に大きなものがある。広く推薦する次第である。

## 関連書籍のご案内

# J. S. ミル フランス日記 1820年5月～1821年7月

関西学院大学図書館所蔵未公開日記手稿ファクシミリ・リプリントおよび翻刻・注釈

【編集・解説】井上琢智 (関西学院大学元学長)

## J. S. Mill's Journal and Notebooks of a Year in France, May 1820 - July 1821:

A Complete Edition with A Facsimile Reprint of the Rediscovered Notebook of John Stuart Mill in Kwansai Gakuin University and Transcribed Text, Annotation and Comparative Studies

<Historical Archives: Primary Sources from Kwansai Gakuin University, Series 1>

2014年1月刊行 A4判・総約300頁 本体価：¥24,800- (+税) ISBN：978-4-86166-181-5

- 英国を代表する思想家、経済学者である John Stuart Mill が青年期に留学し、1年強を過ごしたフランスでの記録。
- ミルのフランス日記の原本はこれまで大英図書館とセント・アンドリュース大学所蔵の2種が知られ、これら2種のテキストはJ.S. ミル全集 *The Collected Works of John Stuart Mill* 中に翻刻収録されているが、本書はこれらとは異なる関西学院大学図書館所蔵の第3番目の原本をファクシミリ復刻。
- 合わせて、3種すべての原本のテキストを忠実に活字化し収録、詳しい注釈と3種のテキスト間の比較研究を加えている。
- 『J. S. ミル評伝』(A. ペイン著)に「... 最も重要な記録は彼が15世の時のフランス旅行」と記されるように、ジェレミー・ベンサム の指導を受け、ジャン＝バプチティスト・セイらから薫陶を受けたフランスでの経験は、若きミルの思想形成に最も重要な影響を与えたと言われている。
- 今回の日記完全版の公開により、このミルのフランス時代の全貌が初めて明かされる。



### ◆収録内容◆

- 1) Introduction
- 2) Editorial Notes and Acknowledgements
- 3) Facsimile Reproduction of the Notebook in Kwansai Gakuin University Library, 76 pp.
- 4) Transcribed Text of the Notebooks with Annotations, 220 pp.

## マルサス人口論の源泉

17-18 世紀文献復刻集成 全6巻+別冊

### Conceptual Origins of Malthus's 'Essay on Population'

【編集・解説】柳田芳伸（長崎県立大学教授）

2006年7月刊行 全約2,370頁 ISBN：978-4-902454-14-7 本体セット価¥118,000-（+税）

- マルサスが『人口論』執筆の際、着想の源とした書物から、特に稀覯な諸著作を精選して収録。
- 近年の人口政策問題の視点からも、活発に議論されるマルサス人口論の成立過程および史的背景の解読に不可欠な文献集成。

#### ■収録内容■

Vol. 1: Hale, Mathew -The Primitive Origination of Mankind, considered & examined according to the Light of Nature (1677) / Vol. 2: Young, Arthur -A Six Month's Tour through the North of England (1770), Letter IV, XVI., + The Farmer's Tour through the East of England (1771), Letter IV. + The Question of scarcity plainly stated and remedies considered (1800) / Vol. 3-5: Townsend, Joseph -A Journey through Spain in the years 1786 and 1787 (1792), in 3 vols. / Vol. 6: Bruckner, John -A Philosophical Survey of the Animal Creation (1768) + Anderson, James - A Calm Investigation of the Circumstances that have led to the Present Scarcity of Grain in Britain (1801) + Booth, David -A Letter to the Rev. T.R. Malthus,...being an answer to the criticism, on Mr. Godwin's work on population, which was inserted in the LXXth number of the Edinburgh review: to which is added an examination of the censuses of Great Britain and Ireland.(1823)

<和書復刻集成版>

## 幕末・明治初期邦訳経済学書 全7巻

Western Economics in Meiji Japan — Collection of Early Japanese Translations, Series 1: 1867- 1880

【編集・解説】井上琢智（関西学院大学元学長）

（幕末・明治期邦訳経済学書復刻シリーズ第1期）

2006年3月刊行 全約2,800頁 ISBN：978-4-902454-09-3 本体セット価 ¥138,000-（+税）

- 明治期に西欧より導入された経済思想を、その主要邦訳書の系統的復刻によりたどる初めての試み。
- 西洋経済学の名著の翻訳だけでなく、日本での経済学確立期に主要な役割を果たした文献やお雇い外国人の講義録の翻訳なども収録。

#### ■収録録内容■

第1巻：神田孝平重訳『経済小学』、1867年 + 小幡篤次郎訳述『生産道案内』、1870年 / 第2巻：福澤諭吉編纂『西洋事情外編』、1867年 / 第3巻：何礼之訳『世渡りの杖——名経済便蒙』、1872-74年 / 第4巻：永田健助訳述『宝氏経済学』、1877年 / 第5巻：永田健助編述『経済説略』、1879年 / 堀越愛国訳『百科全書（経済論）』、1874年 / 大野直輔著『経済新話』、1877年 / 鬼頭悌次郎訳『経済叢書』第二号、1878年 / 第6-7巻：川本清一訳『彼理氏著理財原論』、1880年



発行元：Edition Synapse

（エディション・シナプス）

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-5-201

TEL: 03-6257-1030 FAX: 03-5521-0026

http://www.aplink.co.jp/synapse

取り扱い書店：